



小学生と生産者 新米食べて交流



中種子町立南界小学校で9月5日、新米を子供たちに味わってもらおうと、新米交流会が行われました。同校の児童10人と学校教諭、生産者や町、JA職員らが参加し、日本一早い「種子島コシヒカリ」を使った給食を楽しみました。

新米を食べた児童らは「もちもちとした食感が良かった」「お味噌汁と一緒に食べるともっとおいしい」など感想を生産者らに話していました。

第12回全国和牛能力共進会（鹿児島全共）の鹿児島県代表牛最終予選会が8月28日と29日の2日間、霧島市の始良中央家畜市場で行われました。

最終予選会には県内合計で114頭が出場。熊毛地区では、西之表市の中園昌吾さんが飼養している「こころ号」が第2区（若雌の1）代表牛候補として予選会に臨みました。

審査結果では、始良地区と曾於地区の牛が選ばれましたが、「こころ号」は最優秀賞を受賞しました。



全共鹿児島県最終予選会

